

Buddycare 株式会社(バディケア)

鹿児島県鹿児島市名山町 9-15 (markMEIZAN 内)

設立 ▶ 2021年

資本金 ▶ 600万円

従業員数 ▶ 12名



Buddycare
企業HP



事業内容

Buddycare 株式会社は、2021年に設立された Pet tech^{*}領域のスタートアップ企業です。健康管理データの蓄積・分析やヘルスケアソリューションの開発を通じ、愛犬の世界にも予防医療や未病医療を確立することを目指しています。

※Pet tech…テクノロジーを活用して、ペットのケアや生活を支援するための商品やサービス

● 学生サポーター的魅力ポイント ●

人間の当たり前を愛犬の当たり前!

Buddycare は、愛犬のためにごはんやおやつを人間の食べ物と同じ材料で作り、健康を守る。人間の当たり前を愛犬の当たり前にしたいという思いに魅力を感じました。



入社3年目
川上 莉奈さん

仕事内容

入社3年目の川上さんは、CRM(カスタマー・リレーションシップ・マネジメント)という部署をマネジメントしています。CRM 部は、お客様との直接のやり取りを通じ、良好な関係を構築・維持することを目的とした部署で、具体的には、バディフードを利用したいと思っている方のご相談に乗ったり、既にご利用いただいている方のお困りごとを解決したりしています。

自由でオープンな雰囲気

Buddycare は、自分のアイデアや意見を自由に発信できるオープンな雰囲気であり、社員全員が手を取り合いながら、よりよいサービスの提供を目指している姿が印象的でした。この会社で働く皆さんは、愛犬への思いやりがあるからこそ、「世界中の愛犬が一日でも長く健康で暮らせる社会を実現する」というミッションの実現に向け、積極的にアイデアを出し合いながら働いていることを感じました。

鹿児島で働く魅力

● 生まれも育ちも鹿児島だからこそ

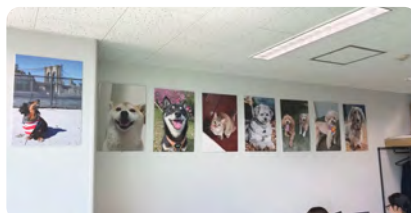
生まれも育ちも鹿児島で、風土や人柄の良さを常に感じて過ごしてきた川上さん。生まれ育った自分だからこそ気付けた鹿児島の良いさを活かし、働いていると感じています。鹿児島に恩返しをすること、鹿児島愛を話の節々に感じることができ、私ももっと鹿児島の魅力を知ろうと思いました。

今後の目標

現在はフードを中心に提供している Buddycare ですが、今後は愛犬たちのヘルスケア全般を包括的にサポートできるような会社になることを目標としているということです。そのために川上さんは事業を拡充していくマーケティングといった新しい領域の仕事にもチャレンジし、より多くの愛犬の健康をサポートできるようになりたいと考えているそうです。



● ポスター



● 愛犬、愛猫の写真に見守られています



● 打合せの様子



代表取締役CEO
原田 和寿さん

仕事内容

Buddycare では「バディフード」や「バディログ」といった愛犬のための商品やサービスを提供しています。「バディフード」は人の食べるものと同じ原料を使用し、獣医師監修で栄養バランスを考えられていて、安全性が確保された愛犬のためのフレッシュフードです。また「バディログ」は愛犬の健康管理データを蓄積していく無料のアプリです。こうして蓄積された健康データを基に愛犬により良い健康を提供することを目指しています。

大切にしていること

●全ては愛犬のために

「世界中の愛犬が一日でも長く健康で暮らせる社会を実現する」というミッションの実現に向け、愛犬ファーストで考えることを大切にされている原田さん。愛犬も家族の一員だからこそ、一日でも長く元気でいてほしいと思い、自分から積極的に行動しようと起業したそうです。犬は、人間よりも早く年齢を重ねるパートナー。だからこそ、愛犬が元気でいてくれることや、共に過ごす時間を大切にしたいという言葉から、愛犬の幸せを願う強い気持ちを感じました。

鹿児島で働く魅力

●豊かな食文化の鹿児島

愛犬向けのヘルスケアソリューションを検討する中で、まずはじめにフードの改善を行おうと決めたと話します。犬は雑食であるため、コメ・野菜・魚・肉のすべての食材が必要になる中で、鹿児島はすべての食材を調達できる恵まれたエリア。そこに注目し、調達から製造まで1つの場所で行うことでより良い商品を作り出せると考え、鹿児島での起業を決めたということです。

今後の目標

Buddycare としては愛犬のヘルスケアを包括的にサポートできる会社になることを目標としているそうです。そのため現在行っているフード以外のサービスの提供拡充と、それを実現するための健康管理データの蓄積・分析を行い未病医療や予防医療を確立し、更なるヘルスケアの進化につなげることを目指しているとのこと。

採用担当から学生へのコメント

全スタッフが、動物好きです。それぞれがさまざまな役割を担っているので、積極的に動いてくださる学生さんにぜひ来ていただきたいです。そして、私たちは、愛犬に温かい気持ちで寄り添うことを大切にしています。この思いやりが、良好なお客様との関係づくりにつながっていくと思っています。

Buddycare 採用担当者 川上さんからのコメント



取材後の感想



橋本 幹大さん

伺ってすごくほっこりしました。愛犬への思いが大きくなって創られた会社で、社内の雰囲気や社員の人柄から愛犬や愛猫への深い愛情を感じることができました。愛犬を家族のように思う姿はすごく素敵で、これから良い方向に変わっていけばいいなと思いました。



西原 来海さん

愛犬と共に家族として長く生活したいという強い思いから生まれた企業は、愛犬の幸せのためにできることは何かということを常に考えていらっしゃる思いやりの深い企業だと気づきました。この素晴らしい事業を、さらに世界に広めればと思いました。



中園 舜さん

実家で10年以上愛犬と共に育ってきた自身からすると、本当にありがたい企業だと感じました。オフィスの様子から社員の皆さんが犬を愛していることがはっきりとわかり、家族の一員である犬の健康を心から願っていることが見て取れました。強い情熱を持って働いている姿を見るとお客様の立場に立った時でも安心することができそうです。



矢島 海音さん

収益も大事にしているがそれ以上に大事なパートナーである愛犬の健康を一番に考え、その健康を守るために自分たちでできることを全力で取り組んでいる企業だと感じました。特にバディログというアプリを無料で提供し、健康サポートを無償でしていたことにも驚きました。世界の愛犬を救うこの活動をもっと広めることができれば良いと思いました。

